

東電の兄弟達を応援しろ！

労働者無産青年諸君！

自己の金儲けのために我々労働者無産青年を戦地へ送り込み敵の矢刃にさらしてゐる。資本家共は否とれどけなかつた。働きがりのものまじらした家族を餓死のどん底へ突き落さうとしてゐる。資本家共は今又産業の合理化、美名のもとに東電従業員三千を犠牲としようとしてゐる。だが東電の兄弟達はこの暴虐を資本家共と「首切り反対だ」解雇より消せ。東電せ、浦工場の兄弟はサボターシユを以て勇敢に戦つてゐるのだ、更に三千人の首切りを前にして東電二万三千人の兄弟は官大暴力団の重圍の真只中に決戦の火がたま切らうとてゐるのだ、全労働者諸君！東電の兄弟の「ケツキ」を孤立させな！労働者の独力を応援によつて兄弟を勝たせう。工場に職場に従業員大會在開いて応援士と、基金をドッと送り込め！

誠首絶対反対だ！強制残業手当を二割増せ！

各無産団体は共同応援委員会をつくれ！東電兄弟達の勝利は全労働者の勝利となるのだ！

戦争反対同盟中部支部準備會

指令 (田端変電所事件に就て) 一九二八〇二

関東電気労働組合本部
東電従業員協議會本部

各分會幹事殿

(一) 去る三十日又は八月一日田端發電所のコンデンサーに何百本の石を投入したと云ふので自ら全所勤務の兄弟全部が檢束された事件は明かに會社が全回の手帳を隠して従業員を欺し、又折々抑をして大量減賃を容易にしよつたための準備として威嚇政策である。

即ち會社はかかる事件を口實に資本家の番犬たる警視廳の暴力的權力を以て全従業員を威嚇する手段として田端の兄弟を犠牲にしたのだ。

(二) 先には我等の後業員大會と官憲のトコ執を以て蹂躪し各職場から我等の斗を奪ひ我等の指導者を見れば田端から檢束した資本家及その先を警視廳はそれで労働者の斗争が少しもヒルまなうを見て今後かかる事件を惹起せしめこれにかこつけて全従業員を威嚇して以て我々の反抗運動を粉砕せんと企てて来たのだ。即ち田端の兄弟達にかけられた暴虐はこれこそ我々の全従業員に加へられた暴虐だ。見よ、田端の兄弟は今や無実の罪に日夜拷問を受けし獄舎の下に呻吟してゐる。田端の兄弟を救ふことは東電全従業員、任務であると同時に大量減賃を防ぎ犠牲者と復讐せしめ待遇を改善せしむる處の今回、争議の本場の斗争を最も有効に敢行することなのだ。

(三) 田端の兄弟は捕はれて既に十日ケン疑は之故に暗れてかたむ拘り、警視廳は之を釈放する處に却て之を口實として今や暴虐の魔手と諸君に伸ぶこととしてゐる、会社はその殺人的威嚇政策の犠牲